

市区町村名	長野県長野市	担当部署	総務部情報政策課
		電話番号	(026) 224 -5005

1 取組事例名

- ・ペーパーレス会議の取組

2 取組期間

- ・平成21年度～（継続中）

3 取組概要

- ・政策会議や部長会議が行われる会議室にイントラ環境を構築し、会議資料を電子化し、集中管理することにより紙使用量の削減と職員の会議準備工程事務の削減や会議進行等の業務効率化を行うもの。

4 背景・目的

- 会議の度に配布される大量の紙資料 の削減
- 資料の印刷や差し替えの手間 の削減
- 紙資料の保管スペースの問題 解決
- 資料の説明が的確に伝わらないことがある

5 取組の具体的内容

政策会議や部長会議が行われる第一会議室を対象としてイントラ環境を整備し、パソコンと庁内 LAN 環境があればソフトウェアの利用のみの簡易な構成とした。

会議資料を全出席者のパソコンに一斉配信し、発言者のパソコンの画面動作と出席者のパソコン画面で同時表示が可能となり発言者の説明している画面が手元のパソコンの画面に表示されることもできるようにした。



開始に当たっては、秘書課にて運用ルールを作成した。

- ・資料は、原則 A4 版横のパワーポイントで作成する。
- ・会議出席者は、会議メモは、ノートを持参してとる。
- ・事務局が、会議開始前にあらかじめ全ての会議資料を専用パソコンに配信する。

ペーパーレス会議の利用は、最初は部長会議と政策会議等が行われる会議に試行導入し、22 年度から利用範囲を更に拡大し、重点事業ヒアリング、法規審査委員会、請負工事審査委員会、物品等供給審査委員会、主管課長補佐会議など同会議室で行うほぼ全ての庁内会議に拡大した。

6 特徴（独自性・新規性・工夫した点）

特別なハードを必要としないシンプル機能のパッケージとし、メモ機能は、操作に気を取られ議論がおろそかになる恐れから導入を見送り、会議室にパソコン40台と会議の傍聴者用に大型液晶ディスプレイを設置した。また、職員用ICカードによる認証と会議資料へのアクセスを限定し、操作履歴を持ちセキュリティ対策を行った。

7 取組の効果・費用

構築費用は、パソコン40台と大型液晶ディスプレイ及びソフトウェア購入で730万円で整備した。試行導入年当時、年間78回の会議を実施し、14万枚の紙使用量削減とカラーコピー代1枚21円換算で約300万円の印刷コストを抑制した。

資料の印刷、配布、回収作業等の作業が不要となり、資料の訂正、差し替えも容易となり職員労力は約6分の1に軽減された。

また、資料の形式を統一したことで資料のポイントが強調され、議論の論点が鮮明になり、発表者と同一画面を見ながらの議論で説明箇所が明確化し、会議の進行が整然かつ迅速化し会議の効率が向上した。

8 取組を進めていく中での課題・問題点（苦労した点）

発表者、質問者がそれぞれ自分のパソコン画面を出席者全員のパソコン画面に表示させて会議を進行していたが、ペーパーレス会議に習熟してくるにつれ、参加者から、発表中の資料の前後を自由に見たいという要望が多くなってきた。そのため、発表者と出席者の画面同期を切離し、出席者が自由に画面表示を変えられるようにしたが、発表者と出席者の表示画面にずれが生じ、適宜サポートする職員を配置する必要が生じた。

9 今後の予定・構想

他の会議室などでは未だに紙資料による会議が行われるが、庁内には、無線化の環境が整ったため、各自のパソコンを持ち寄ればペーパーレス会議は可能となることから、全庁的にペーパーレス会議を推進して紙使用量の抑制と会議の効率化を進めていく。

10 他団体へのアドバイス

ペーパーレス会議で使用する資料の基準や様式を決めておくことにより、作成者側及び参加者側でも会議のポイントが分かり易い資料となり議論すべき内容が明確になる。